

## 2 いろいろな事例紹介

### (1) 苗穂駅周辺のまちづくり

苗穂は、北海道開拓の初期より、麦酒醸造所、製紙所、味噌醤油製造所などが建てられ、「産業のまち」として発展してきました。

しかし、産業の構造変化や施設の老朽化などにより、工場が移転するなどして地区内には空き地もみられるようになり、かつての賑わいは見られなくなりました。

そこで、苗穂駅周辺地区を見直し、まちの活性化や課題に向き合うため、住民によるまちづくり協議会が発足するなど、市民・企業・行政が一体となった様々な取り組みがはじまりました。近年は、大規模な商業施設が立地するなど、民間開発の動きが活発化し、街が変わろうとしています。

住民によるまちづくり協議会では、「なえば探検バスツアー」の開催や「苗穂産業遺産マップ」の作成、ワークショップ(苗穂景観塾)を開催するなど、苗穂の魅力を再発見し、広く発信する活動を行っています。



福山醸造所



苗穂産業遺産マップ



苗穂景観塾

景観  
まちづくりの  
POINT

#### 皆さんの地域でも

自分の住んでいる地域を見つめなおしてみましょう。歴史的建造物をはじめ様々な景観資源を発見することができます。

これらの地域に点在している景観資源を、他の景観資源とのつながりを意識しながら、まちづくりに活用してみましょう。例えば、散策マップを作成するなど、地域の魅力を広く発信することで、地域全体としての賑わいが生まれます。

3

地域でまちづくりに活かそう